

令和7年度
学校評価報告書



鉾子市立本城小学校

令和7年度 学校評価

I 今年度の状況

本年度の学校教育目標を次のとおり設定した。

1 学校教育目標 知・徳・体の調和のとれた児童の育成
2 学校教育目標達成のためのキャッチフレーズ 「笑顔にあふれ 瞳輝く本城小！！」
3 学校経営方針 (1) 児童が安心して登校し、また、保護者も安心して登校させられる、安全・安心な学校づくりを推進する。 (2) 授業や行事等をとおして、「できた。」「わかった。」と実感できる教育の実践を積み重ねる。 (3) 教職員一人一人の力とチームとしての組織力の向上により、児童一人一人を大切にしたい学校づくりを推進する。 (4) 教職員一人一人が、心身ともに健康で教育活動が進められるように、計画的・効率的に仕事を進めるとともに、協働で教育活動を進める。 (5) 短期・長期のR-PDCAサイクルにより、教育活動の改善を進め、信頼される学校づくりを推進する。 (6) 保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりを推進する。

II 評価の概要

1 自己評価

(1) 職員による評価

- ① 教育活動全般の評価(7月、12月)
- ② 教育課程の評価(12月)
- ③ 学校行事の評価(その都度)
・避難訓練、運動会、修学旅行 等

(2) 児童による評価

- ① 教育活動全般の評価(12月)

(3) 保護者による評価

- ① 教育活動全般の評価(12月)
- ② 保護者会(4月)

2 学校関係者評価

- (1) 委員 学校運営協議会委員 6名
- (2) 実施時期 2月

III 自己評価の基準

【アンケートの結果の数値に関する基準】

評価	A 目的を達成した	B 目標をほぼ達成した	C 目標をあまり達成できていない	D 目標を達成できていない
評価基準 ※(肯定的回答の割合)	90%以上	75%以上 ～90%未満	60%以上 ～75%未満	60%未満

※ 肯定的回答・・・アンケートの評価規準のうち、4または3と回答した割合の合計

《評価規準》

4・・・十分にできている 2・・・不十分なところが多い
3・・・ある程度できている 1・・・ほとんどできていない

IV 学校評価年間計画

※ は行事の自己評価(職員)

	学校関係者評価 (学校運営協議会委員)	自己評価	
		(学 校)	(児童・保護者)
4月		<input type="checkbox"/> 重点目標、評価項目等の設定 4/8 入学式	
5月	5/13 ■学校評価について説明	<input type="checkbox"/> 職員への公表、対応	4/22 ◇重点目標の周知(保護者会)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">5/24 運動会</div>			
7/22~7/24 ◇個人面談			
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">11/8 本城小まつり</div>			
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">12/3 本城海上学区 1000 ヲ所ミニ集会</div>			
11月		11月下旬	<input type="checkbox"/> 外部アンケートの実施 (保護者、児童)
	11/28	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <input type="checkbox"/>アンケートの実施 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <input type="checkbox"/>自己評価の実施 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <input type="checkbox"/>職員への公表、対応 </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <input type="checkbox"/>学校関係者評価資料の作成 (評価結果、改善策) </div>			
2月	02/17	<input type="checkbox"/> 自己評価結果と改善策について の評価	<input type="checkbox"/> 報告書の作成(市教委へ報告)
3月上旬			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <input type="checkbox"/>自己評価結果と改善策についての公表 </div>			

V 自己評価結果

1 アンケートの概要

(1) 対象 保護者、児童、学校職員

(2) 実施日 令和7年12月

(3) 回収率
保護者

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
在籍人数	21	22	22	18	35	19	137
回収人数	16	19	20	18	35	14	122
回収率	76	86	90	100	100	73	89

2 評価結果(数値)

4 十分できている	3 ある程度できている
2 不十分なところが多い	1 ほとんどできていない

※ 肯定的回答は、評価4、3を合わせた値

【保護者・職員】

No.	評価項目	評価【%】				
		4	3	2	1	肯定的回答
1	学校は、学校の教育目標や経営方針について、保護者にわかりやすく伝えていますか。	24.8	65.6	7.2	2.4	90.4
		69.2	30.8	0.0	0.0	100.0
2	学校は、学校の教育目標や経営方針について、保護者にわかりやすく伝えていますか。	27.2	62.4	8.8	1.6	89.6
		69.2	30.8	0.0	0.0	100.0
3	学校(学級)は、お子さんの確かな学力を身に付けさせるために、熱心に取り組んでいますか。	33.6	57.6	6.4	2.4	91.2
		84.6	15.4	0.0	0.0	100.0
4	学校(学級)は、お子さんの思いやりの心や命を大切に育てるために熱心に取り組んでいますか。	27.2	63.2	6.4	3.2	90.4
		84.6	15.4	0.0	0.0	100.0
5	学校(学級)は、お子さんの体力向上や健康管理について熱心に取り組んでいますか。	33.6	58.4	8.0	0.0	92.0
		92.3	7.7	0.0	0.0	100.0
6	交通事故防止や防災・不審者から身を守る指導は、お子さんの安全につながっていますか。	25.6	68.0	6.4	0.0	93.6
		92.3	0.0	7.7	0.0	92.3
7	学校は、感染症予防のための環境整備や予防に十分取り組んでいますか。	27.2	64.0	6.4	2.4	91.2
		84.6	15.4	0.0	0.0	100.0
8	学校は、お子さんの好ましくない行動を適切に指導していますか。	28.0	58.4	9.6	4.0	86.4
		69.2	30.8	0.0	0.0	100.0
9	授業参観や学校開放(運動会、公開日等)は、お子さんや学校を理解する場になっていますか。	40.8	54.4	4.0	0.8	95.2
		76.9	23.1	0.0	0.0	100.0
10	学校(担任)は、お子さんの学校での様子について知らせ、保護者との連携を図る努力をしていますか。	37.6	44.0	12.8	5.6	81.6
		84.6	15.4	0.0	0.0	100.0
11	学校(担任)は、保護者からの質問や相談に適切に応じていますか。	42.4	41.6	12.0	4.0	84.0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
12	学校は、特別支援教育の充実に努めていますか。	31.2	60.8	6.4	1.6	92.0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
13	学校は、いじめや不登校の早期解消に努めていますか。	27.2	58.4	12.0	2.4	85.6
		84.6	15.4	0.0	0.0	100.0

No.	評価項目	評価【%】				
		4	3	2	1	肯定的回答
14	お子さんは、楽しく学校に通っていますか。	50.4	40.8	7.2	1.6	91.2
		61.5	38.5	0.0	0.0	100.0
15	お子さんは、授業の内容を理解していますか。	21.6	63.2	13.6	1.6	84.8
		23.1	76.9	0.0	0.0	100.0
16	お子さんは、自分から家庭学習(宿題も含む)をしようとしていますか。	20.0	44.8	25.6	9.6	64.8
		23.1	61.5	15.4	0.0	84.6
17	お子さんは、進んで読書をしていますか。	8.8	27.2	46.4	17.6	36.0
		15.4	69.2	15.4	0.0	84.6
18	お子さんは、早寝早起きをするなど、規則正しい生活を心がけていますか。	22.4	51.2	20.8	5.6	73.6
		23.1	76.9	0.0	0.0	100.0
19	お子さんは、明るく元気なあいさつを心がけていますか。	29.6	56.0	13.6	0.8	85.6
		84.6	15.4	0.0	0.0	100.0
20	学校(教職員)は、子どもたち一人一人を大切に、丁寧に指導・支援していますか。	36.8	52.8	9.6	0.8	89.6
		84.6	15.4	0.0	0.0	100.0
21	学校(教職員)は、協力して教育活動に努力していますか。	37.6	52.8	8.0	1.6	90.4
		92.3	7.7	0.0	0.0	100.0

【児童】

No	評価項目	評価【%】			
		4	3	2	1
1	家で学校の話をよくしますか。	46.0	36.5	10.9	6.6
2	授業や計算・漢字の学習などを、最後までがんばることができましたか。	59.1	35.8	3.6	1.5
3	道徳の授業で、「命の大切さ」や「思いやり・たすけあい」などについて、考えたり、学んだりすることができましたか。	65.0	28.5	5.8	0.7
4	進んで運動や外遊びをし、健康的な生活をこころがけることができましたか。	72.3	19.0	8.0	0.7
5	手洗い、マスク着用、密をさけるなどをして、安全に気をつけることができましたか。	50.4	40.1	8.8	0.7
6	交通安全についてや地震・不審者対応の避難訓練は、約束を守り、しんけんに取り組みましたか。	77.4	21.9	0.7	0.0
7	先生は、よくない行動をした人にしんけんにお話をしていますか。	81.0	16.1	2.9	0.0
8	運動会、集会、校外学習などの行事は、めあてをもって取り組みましたか。	73.0	24.1	2.9	0.0
9	先生は、学校での様子などを、電話や連絡帳で家の人に伝えていきますか。	73.0	19.7	5.8	1.5
10	先生は、質問や相談をよく聞いてくれますか。	81.0	15.3	2.9	0.7
11	いじめをしないで、友達と仲良く過ごすことができますか。	78.8	19.0	2.2	0.0
12	学校に来るのは、楽しいですか。	64.2	29.9	3.6	2.2
13	授業の内容は、よくわかりますか。	48.2	43.1	4.4	4.4
14	自分から宿題・読書・自学を含む家庭学習をするようにしていますか。	51.8	35.0	9.5	3.6

No	評価項目	評価【%】			
		4	3	2	1
15	早寝早起きやしっかりと食事をとるなど、規則正しい生活をこころがけ、健康に気を付けていますか。	53.3	34.3	9.5	2.9
16	明るく元気にあいさつをしていますか。	62.0	24.8	13.1	0.0
17	本をよく読んでいますか。	24.8	33.6	29.9	11.7

3 前年度比較【R6 後期・R7】(%)

*数値は肯定的回答（4段階評価で、「4=よくあてはまる」、または、「3=だいたいあてはまる」100%）

また、網掛けは80%未満

	アンケート項目	保護者		児童		教職員	
		R6後期	R7	R6後期	R7	R6後期	R7
1	学校は、学校の教育目標や経営方針について、保護者にわかりやすく伝えているか。 家で学校の話をよくするか。	96	91	88	82	100	100
2	学校は、よりよい教育活動のために、工夫・改善を図ろうとしているか。	94	89			100	100
3	学校は、児童の確かな学力を身に付けさせるため取り組んでいるか。 授業や計算・漢字の学習などを、最後までがんばることができたか。	93	92	97	95	100	100
4	学校は、思いやりの心や命を大切にする心の育成に取り組んでいるか。 道徳で「命の大切さ」や「思いやり・助け合い」について、学んでいるか。	93	90	100	93	100	100
5	学校は、児童の体力向上や健康管理について熱心に取り組んでいるか。 積極的に運動や外遊びをし、健康的な生活を心がけることができたか。	94	92	92	91	100	100
6	交通事故防止や防災・不審者対応の指導は、安全につながっているか。 交通安全や学校の避難訓練は、約束を守り、真剣に取り組んだか。	96	94	90	90	100	100
7	学校は、感染予防のため環境整備や予防に取り組んでいるか。 手洗い、マスク着用、密を避けるなどして、安全に気をつけることができたか。	87	91	97	99	100	100
8	学校は、児童の好ましくない行動を適切に指導しているか。	93	86	99	97	100	100
9	授業参観や学校開放（運動会、公開日等）は、児童や学校を理解する場になっているか。 運動会、集会、校外学習などの行事は、めあてをもって取り組んだか。	92	95	99	97	100	100
10	学校（担任）は、児童の学校での様子について知らせ、保護者との連携を図る努力をしているか。	91	82	97	93	100	100
11	学校（担任）は、保護者からの質問や相談に適切に応じているか。 先生は、質問や相談をよく聞いてくれるか。	93	84	100	96	100	100
12	学校は、特別支援教育の充実に努めているか。	93	92			100	100
13	学校は、いじめや不登校の早期解消に努めているか。	89	85	97	98	100	100
14	児童は、楽しく学校に通っているか。	97	91	94	94	100	100
15	児童は、授業の内容を理解しているか。	86	85	99	91	100	100
16	児童は、自分から家庭学習（宿題も含む）をしようとしているか。	78	65	93	87	100	100
17	児童は、進んで読書をしているか。	47	36	66	59	100	100
18	児童は、早寝早起きをするなど、規則正しい生活を心がけているか。	75	83	91	87	100	100
19	児童は、明るく元気なあいさつを心がけているか。	90	86	94	87	100	100
20	学校（教職員）は子どもたち一人ひとりに丁寧に指導しているか。	95	90			100	100
21	学校（教職員）は協力して教育活動に努力しているか。	97	91			100	100
22	学校運営に積極的に参加しているか。					100	100
23	校内・外の研究・研修に積極的に参加し、資質・力量の向上に努めているか。					100	100
24	教員としての信頼を損なうことのないように、常に努めているか。					100	100
25	校務の効率化と勤務時間の削減に努めているか。					100	100
	平均	89	85	94	90	100	100

VI 評価結果からの考察、改善案

※肯定的な評価「満足、充実、達成度が高い」

「だいたい満足、達成に向かっている」の回答を合計した数値の平均

1 数値結果からの考察

※%は肯定的な回答(「満足、充実、達成度が高い」「だいたい満足、達成に向かっている」)の合計

- (1) 本調査の評価の平均は、保護者約89%前後、児童は約80~90%台、職員は概ねほぼ100%であった。
令和6年度と比較しても、職員評価は安定して高く、学校の教育活動への自信と一体感が維持されている。
保護者評価では、概ね高い肯定的回答率が見られるものの、昨年度と比較し若干低下した項目もみられる。
一方、児童評価は多くの項目で昨年度と同等かやや改善傾向にある。
- (2) 「学校の取組」(評価項目1~13)について、保護者評価は高い水準(概ね80~90%台以上)であり、学校としての教育活動や児童指導への理解が一定程度あると見られる。特に次の項目は高評価であった。
 - 感染症予防や安全指導に関する取組
 - 授業参観・学校開放等が学校理解の機会となっている
 - 体力向上・健康管理への取組その一方で、保護者評価がやや低めとなった項目に「学校(担任)は児童の学校での様子を保護者に知らせ、連携を図る努力をしているか」「学校(担任)は保護者からの質問や相談に適切に応じているか」などが含まれており、連絡・連携面への更なる工夫が求められている。
- (3) 「児童の実態」(評価項目14~19)については、児童自身の学校生活に対する肯定的評価は比較的高いものの、「家庭学習・読書・生活習慣」等においては課題が顕在化している。
特に次の点が指摘できる。
 - 自ら進んで家庭学習に取り組む児童は約半数程度にとどまっている。
 - 規則正しい生活習慣についても十分とはいえない傾向が見られる。
 - 読書の習慣率(「本をよく読んでいる」)は比較的低く、児童自身の読書活動への参加が課題となっている。
- (4) 「教師の取組」(評価項目20~21)もおおむね高評価であり、職員は日々の教育活動に協力的に取り組んでいることがうかがえる。ただし、保護者評価では昨年度と比較して若干の低下傾向の項目もある。

2 児童回答からの考察(令和7年度)

児童の回答からは、次のような傾向があらわれている。

- (1) 肯定的な項目
児童は学校生活のさまざまな側面において比較的高い評価を示し、次のような項目は高い肯定率であった。
 - 運動や生活習慣に関する取組
 - 交通安全・避難訓練に対する取り組み
 - 教員による対応(相談・励まし・悪い行動への適切な対応)
 - 行事への取り組みや友人関係これらは、児童が学校生活を楽しく感じている要因のひとつと考えられる。
- (2) 課題となる項目
一方で次の項目については、改善の余地がみられる。
 - 授業内容の理解(理解しやすさ)
 - 自発的な家庭学習
 - 規則正しい生活習慣
 - 読書習慣特に読書習慣は令和6年度同様に低い状態であり、学校として継続的な支援が必要と考えられる。

令和 7 年度の調査結果の特徴として、保護者評価は全体として高いものの、家庭学習や読書、生活習慣の面で児童評価よりやや低く、学校との連携強化の必要性が示された。また、児童評価では多くの項目で安定した高評価が確認され、学校生活への満足感や教師との信頼関係が確立されていることがうかがえる。職員評価も高く、教育目標達成に向けた取り組みが統一的に行われている。

保護者の記述内容からの考察(令和 7 年度)

1. 学校運営・教育活動についての考察

保護者の記述から、学校の教育方針や授業、行事、教職員の対応に関して、全体的に高い評価がある一方、個別の連絡体制やアンケート実施の透明性、授業参観の教科構成などに改善を求める意見があることがわかる。特に、家庭学習・読書・生活習慣の定着や、教員の発言による児童の影響への懸念も指摘されており、学校が実施している取組が十分に保護者に伝わっていないことや、意見に対する検討・改善の過程が見えづらいことが課題として浮かび上がった。

2. 学校環境・安全についての考察

学校の立地や設備に関する意見として、西門の狭さや安全確保、行事運営の効率化についての要望がある。特に物理的改善が難しい場合でも、保護者や児童が安全に利用できるよう配慮が求められている。また、児童への安全指導や SNS・ネット上でのトラブル防止についても、家庭と学校の連携が重要であることが示されている。

対応方針

1. 教育活動・学校運営の改善

- 担任が作成するアンケートについては、事前に教頭・校長による確認を行い、内容の適切性と公平性を確保する。
- 授業参観の教科構成を見直し、道徳以外の教科や特別活動も保護者が参観できる機会を設ける。
- 保護者参加型行事の運営方法を検討し、児童の学習環境や安全に配慮しつつ連携を強化する。

2. 家庭学習・生活習慣・読書活動の支援

- 家庭学習や宿題については、児童が理解しやすく取り組める指導方法を工夫し、必要に応じて保護者とも連携して支援体制を整備する。
- 読書活動については、読書カードや発表会などを活用し、家庭と学校の三者で習慣づけを推進する。
- 生活習慣の定着については、児童の自覚を促す指導と家庭との協力を継続的に行う。

3. 安全・安心の確保

- 学校内外でのいじめや心ない発言、SNS 上でのトラブルに対しては迅速に対応し、相談窓口を明確化する。
- 自転車指導や交通安全教育は、夏休み前の「自転車教室」など既存の取組を継続し、家庭と連携して児童の交通安全意識を高める。
- 西門など物理的制約がある場所については、安全確保や通行方法の工夫を継続する。

4. 教職員の指導力向上

- 教職員研修や指導方針の共有を通じ、教育者としての自覚と責任感を再確認する。
- 保護者との連携や情報共有を改善し、意見に対する検討・対応の可視化を行うことで信頼関係を強化する。

4 項目別の評価及び改善案、考察

[評価 A：90以上 B：75～89 C：60～74 D：60未満]

	項目、評価(数値) 【肯定的回答の割合(%)】	評価	保護者の主な記述	改善案等	考察
学校経営・運営	教育方針のわかりやすい説明 【保 91 職 100】	A A			
	家庭で学校の話を行っている 【児 82】	B			
	教職員の教育活動への取組努力 【保 89 職 100】	B A	1. 担任がアンケートを作成した場合は、教頭先生及び校長先生が確認すべきだと思います。 2. 今はまだ何も信用できないためこの評価です 3. あまり期待はしていない。言っても何も動いてくれないので	1. 今回の意見を受け、今後担任が作成するアンケートについては、内容の適切性および公平性を確保するため、事前に教頭および校長による確認を行う体制を整える。 2、3. いただいたご意見については、必ず管理職を含めて共有し、対応の検討を行う仕組みを明確化していく。また、検討結果および対応状況については、可能な範囲で具体的にお知らせし、「意見がどのように扱われたのか」が見える形に改善する。	1. 学校としての正式な組織決定によるものではなく、個人の判断により実施されたものである。そのため、設問内容や実施目的、結果の取扱いについて、学校全体としての共通理解や確認体制が十分でなかった可能性がある。このことが、アンケートの公平性や透明性に対する不安や不信感につながったものと考えられる。 2、3. 本校に対して、「現時点では信用できない」「意見を伝えても改善につながっていない」との意見が寄せられている状況である。これは、学校の取組や対応が十分に伝わっていない可能性や、意見に対する検討・改善の過程が可視化されていない状況があることを示していると考えられる。その結果、保護者との信頼関係の構築が十分とはいえず、学校の姿勢や取組が実感として伝わっていない状態が課題となっている。
教育活動の工夫改善 【保 91 職 100】 授業参観等による教育活動の理解 【保 95 職 100】	A A A A	1. 授業参観が道德の授業が多いので、他の教科がもっと観てみたい。	1. 授業参観の教科構成を見直し、道德以外の主要教科や特別活動の授業も参観できる機会を設ける。	1. 授業参観において道德の授業が多く設定されていることにより、保護者が他教科の授業内容や学習活動の様子を把握する機会が限られている状況であると考えられる。	
学校行事への取組 【児 97】	A	2. 本城まつりの内容を変えて欲しい。保護者も一緒に参加できるようにして欲しい。	2. 保護者参加型行事については、安全面や児童の学習環境に配慮しつつ、家庭と学校の連携を強化できる運営方法を検討する。	2. 本城まつりについては、現行の内容や運営方法が保護者参加の観点で十分に配慮されていない可能性がある。保護者が参加しやすい形で行事を実施することにより、学校と家庭の連携を強化し、児童の学習・生活環境の理解を深める機会になると考えられる。	

項目、評価（数値） 【肯定的回答の割合(%)】	評価	保護者の主な記述	改善案等	考察
		<p>3. 運動会は秋が望ましい。</p> <p>4. 運動会は、午前中みの開催のため、軽食タイムはいらぬのではないか。写真撮影について、ゴール付近での撮影を希望。検討してほしい。</p>	<p>3. 運動会は、今後も春実施の方向で考えている。</p> <p>4. 午前中みの運動会における軽食タイムの必要性について、プログラム全体の流れや児童の体調面を考慮し見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真撮影の場所や方法について、安全面に配慮しつつ、ゴール付近での撮影が可能となる運営方法を検討する。 	<p>4. 軽食タイムについては、午前中みの運動会では必要性が低いとの意見であり、プログラムの効率化や児童の集中力維持の観点から検討の余地がある。</p> <p>また、写真撮影については、安全面や他児童の迷惑に配慮しつつ、ゴール付近で撮影したいという希望がある。運動会の記録や保護者の満足度向上のため、適切な撮影位置や方法について工夫が必要であると考えられる</p>
<p>特別支援教育の充実 【保 92 職 100】</p>	<p>A A</p>			<p>◇全体として、学校は特別支援教育に関して非常に高い実施率と評価を得ていると考えられる。職員の努力が反映されており、児童への支援体制は安定している。しかし、保護者への情報提供や効果の可視化などでさらに理解を深める余地がある。</p>
<p>学校と保護者の連携した指導 【保 82 職 100 児 93】</p> <p>教育相談 【保 84 職 100 児 96】</p>	<p>B A A B A A</p>	<p>1. いつもこまめに連絡をいただき、ありがたい。都合による欠席や遅刻にもかかわらず、いつもご尽力いただき感謝している。</p> <p>2. 担任の先生の連絡等が不十分である。口頭での説明ではなく手紙などを書いて欲しい。電話や連絡帳での連絡が多いにも関わらず、重要な件などを伝えていただけていない点や、子どもの特性に合わせた指導をして頂いていないように感じる。連絡いただいた際の要件が要約されておらず、理解しづらいと感じている。</p>	<p>2. 口頭だけでなく、手紙や文書による連絡も併用し、保護者が内容を確認しやすい体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 連絡内容の要点を整理し、重要事項を明確に伝える形式を検討する。 児童の特性や状況に応じた指導や連絡内容の調整を行い、個々のニーズに応じた対応を強化する。 	<p>1、2. 保護者は日常的な連絡に感謝している一方で、情報の伝達方法や内容の整理について改善を求めている。特に、口頭での説明だけでは理解が十分でない場合があること、重要事項の伝達が漏れやすいこと、児童の特性に応じた対応が十分でないと感じることが課題であると考えられる。</p> <p>連絡の要点が整理されていないことにより、保護者が情報を把握する際に負担を感じている可能性もある。これらの課題は、保護者との信頼関係や児童の学習支援の質に影響を与える要因となり得る。</p>

	項目、評価（数値） 【肯定的回答の割合(%)】	評価	保護者の主な記述	改善案等	考察
学 習 指 導	教員のわかりやすい授業【保92 職100】 授業内容を理解している【保85 職100 児91】	A A B A A	1. 算数が難しくなってきたようなので個々の理解度に合わせた指導をして頂けると有難い。	1. 必要に応じて、授業内外で補習や課題支援の機会を設け、児童の学習意欲と理解度の向上を図る。 ・保護者への指導方針や学習状況の連絡を行い、家庭での学習支援と連携できる体制を整える。	1. 学習内容の進度が進むにつれて、児童間で理解度の差が生じることがあると考えられる。特に算数は積み重ねが重要であるため、個々の理解度に応じた指導が求められる状況である。 児童の理解度に応じた指導や支援が十分に行われることで、学習意欲の維持や学力向上につながると思える。現状では、一部の児童にとって難易度が高く、学習定着に不安を感じる保護者がいることが課題となっている。
	学力向上への努力【児95】	A	1. 自宅では(言っても)宿題をやらないので、学校で上手く進めてほしい。	1. 宿題の目的や内容を児童に分かりやすく伝え、学習意欲を高める指導方法を工夫する。 必要に応じて保護者と連携し、家庭での学習環境改善やフォローの支援方法を検討する。	1. 児童が家庭で宿題を実施しない場合、学習内容の定着に影響する可能性があると考えられる。宿題は授業で学んだ内容を復習・定着させる重要な手段であるため、学校での支援が求められている状況である。
	読書への取組【保36 職100 児59】	D A D		◇児童には読書カードや発表会を活用し、意欲と理解を高める。 ・保護者には情報提供をし、家庭での支援を強化する。 ・学校全体で活動の記録や成果を共有し、三者で読書習慣を推進する。	◇これらの結果から、教職員は読書活動に積極的に取り組んでいる一方で、児童や保護者の参加状況にはばらつきが見られることがわかる。特に保護者の参加率が低いことは、家庭での読書習慣や学校との連携の強化が今後の課題であると考えられる。
	家庭学習への取組【保65 職100 児87】	C A B	1. 自学の提出を廃止してほしい 理由:提出できない自学もある(タブレット) 子供によって時間でできる自学の量も違う 親の負担、丸つけだけと思うかもしれないがその時間も大変な人もいるし、先生の負担も減るのではないかと	1. 自学の提出を必須とせず、児童の学習状況や進度に応じて柔軟に対応する方法を検討する。 ・タブレットやデジタル教材で行う自学については、提出方法の代替手段や記録方法を整備する。	1. 自学の提出に関して、児童の環境や学習状況により負担や不公平が生じる可能性があると考えられる。特にタブレットなどデジタル教材を用いた自学では提出方法が限定される場合があり、児童によって学習量や時間に差が出る状況である。 また、保護者や教員にとって丸付けや管理の負担が発生することも課題となっている。自学の提出方法や評価方法の在り方を見直すことで、児童の学習意欲を損なわず、家庭・学校双方の負担軽減につながる可能性がある。

	項目、評価（数値） 【肯定的回答の割合(%)】	評価	保護者の主な記述	改善案等	考察
生 活 指 導	基本的な生活習慣への努力 【保 83 職 100 児 87】	B A B			
	教員の生活態度に対する指導 【保 86 職 100 児 97】	B A A	1. 服装、毛染め、装飾品、不要物の持ち込みに関する制限は、理由も併記し全校連絡として定期的に周知した方が良いと思う。	1. 学校としての指導方針を丁寧に説明し、保護者の理解と協力を得られるよう努める。	1. 学校の規則や制限は、安全確保や教育環境の維持、児童の公平性の確保などを目的として設けられている。しかし、保護者や児童に対して理由が明確に伝わっていない場合、理解不足や誤解が生じる可能性がある。
	挨拶が身に付いている 【保 86 職 100】 挨拶の習慣 【児 87】	B A B			
	充実した学校生活 【保 91 職 100 児 94】	A A A	1. 担任の先生と言葉の教室の先生が優しく、来年も同じ先生が良いと子どもが話しており、感謝している。 2. 担任交代でご苦労があった中、子どもたちのために真摯に対応してくれたことに感謝している。教頭先生が担任となり負担も大きいと思うが、子どもは楽しく過ごしており、ありがたく感じている。 3. 以前とは変わり、家でも明るく学校の話をするようになり、帰宅後も年相応の子どもらしさが感じられる。	1、2、3. 担任や支援教室の教員による丁寧な対応を継続し、児童の安心・安定した学校生活を支える。 児童の情緒面や家庭での様子を把握し、個別支援やフォローの充実を図る。 保護者への感謝や満足度の声を今後の指導改善や教職員研修に活かし、教育サービスの質向上につなげる。	1、2、3. 保護者は、担任や支援教室の教員の対応に高い満足感と感謝の意を示している。特に、教頭先生の担任就任などの変化があったにもかかわらず、児童が安心して学校生活を送れていることは、学校の対応が児童の情緒的安定や学習意欲に好影響を与えていることを示している。 また、家庭での生活や会話の変化からも、児童の自己肯定感や学校に対する信頼が向上していることがうかがえる。これらは、教職員の丁寧な指導と個別支援が子どもに適切に届いている成果であると考えられる。
	いじめや不登校の早期解消【保 85 職 100】	B A			
	良好な友人関係 【児 98】	A	1. 子どもが学校や帰り道で悪口を言われることがあり、先生の心ない一言にも傷ついていた。教育者の発言は特に影響が大きく、いじめや不登校のきっかけになりかねないため軽率だと感じている。 2. 娘が SNS で中傷されている可能性があるという聞いたが未確認のため対応に困っている。12/1 のスマホ安全教室で、そうした行動を控えるよう指導してほしい。	1. 学校内外でのいじめや心ない言動に迅速に対応する体制を整え、児童が安心して相談できる窓口を明確化する。 ・保護者への連絡や報告を通じて、児童の状況や対応経過を共有し、家庭と学校の連携を強化する。 2. 児童に対して、他者への配慮やトラブル時の相談窓口を周知し、安全に対応できる方法を指導する。 ・必要に応じて、被害が確認された場合の対応手順や相談窓口の整備を行い、児童の安心・安全を確保する。	1. 児童が学校内外で悪口や心ない発言により精神的な影響を受けていることは深刻な課題である。特に教育者の発言は児童に与える影響が大きく、信頼関係や学習意欲、登校意欲に直結する可能性がある。 2. SNS やインターネット上での中傷やトラブルは、児童の安心・安全に影響を及ぼす可能性がある。保護者が状況を把握しきれていない場合、学校としての適切な指導や対応が重要となる。この意見から、児童へのネットリテラシー教育の強化や、SNS 上での行動や影響に関する理解を促す指導の必要性が示されている。また、家庭と学校の連携を通じて、児童が安心して学習・生活できる環境を整えることが課題

	項目、評価（数値） 【肯定的回答の割合(%)】	評価	保護者の主な記述	改善案等	考察
	安全、事故防止への努力【保 94 職 100】 交通ルールの遵守 避難訓練への取組【児 90】	A A A	1. 自転車指導をしてほしい。小学生にもわかりやすい指導をしていただけると助かります。	1. 本校では、4年生を対象に夏休み前に外部講師を招き「自転車教室」を実施している。今後も学校と家庭が連携し、児童の交通安全意識の向上に努めることが重要である。	である。 1. 自転車の安全利用は児童の通学時の安全確保に直結する重要な課題である。児童が交通ルールや自転車の正しい乗り方を十分に理解していない場合、事故やトラブルのリスクが高まると考えられる。
道徳教育	人間性向上への努力【保 90 職 100】 思いやり・助け合いの心【児 93】 教員の児童理解【保 90 職 100】	A A A A			◇本校における人間性向上や児童理解に関する評価は、教職員が全員取り組んでいることを示す100%の結果と、保護者からも高い評価(90%)を得ていることから、学校としての教育活動が一定の成果を上げていることがうかがえる。 児童の思いやりや助け合いの心についても93%と高く、授業や学校生活を通じて人間関係形成や社会性の育成が効果的に行われていると考えられる。
体力向上	健康・体力向上への努力【保 92 職 100】 体力・健康への取組【児 91】	A A A			◇本校の健康・体力向上に関する取組は、教職員が全員取り組んでいることを示す100%の結果と、保護者からも92%の高い評価を得ており、学校としての教育活動が効果的に実施されていることがうかがえる。 また、児童の体力・健康への取組も91%と高く、日常の授業や運動活動を通じて、児童の健康意識や体力向上が着実に促されていると考えられる。
環境整備	感染症予防のための環境整備【保 91 職 100】 感染症予防への取組【児 99】	A A A			◇本校では感染症予防のための環境整備や取組が適切に行われており、職員全員が関与していることを示す100%の結果を得ている。また、保護者からも91%の高い評価を受けており、学校の取組が一定の成果を上げていることがうかがえる。 さらに、児童の感染症予防への取組も99%と高く、児童自身が衛生習慣や予防行動に積極的に取り組んでいることが確認できる。
その他			1. 学校は勉強だけでなく、思いやりや社会のルールを学ぶ場であり、悪いことは毅然と指導する姿勢が必要だと思う。校則にないから何をしてもいいという考えや、個性とわがまを混同す	1. 校則にない行動についても、児童の生活面や社会性の観点から適切に指導していく。 教師研修や指導方針の共有を通じ、教育者としての自覚と責任感を再確認する。	1. 学校教育においては、学習面のみならず、児童の生活面や社会性の育成も重視する必要がある。校則の有無にかかわらず、児童の行動を適切に指導することが、安心・安全な学習環境と児童の成長に直結する。 教師の言動は児童に大きな影響

	項目、評価（数値） 【肯定的回答の割合(%)】	評価	保護者の主な記述	改善案等	考察
			<p>ることには疑問がある。教師には、子どもたちの人生に影響を与える存在である自覚を持ってほしい。</p> <p>2. 西門の入り口をもう少し広くして欲しい。入りづらい。</p>	<p>2. 西門の狭さについては、学校の立地や敷地の状況から大幅な改善は難しいものの、保護者の利用時の安全確保について引き続き配慮する必要がある。</p>	<p>を与えるため、教育者としての自覚と責任感を持った指導が求められる。</p>

Ⅶ 令和8年度の経営の重点（案）

本年度は、教職員の自己評価が全項目で100%となり、学校運営や教育活動は概ね安定して行われていた。一方で、保護者・児童評価では前年度と比較して低下した項目が見られ、特に学校の方針の伝達や家庭との連携に課題が残った。また、家庭学習や読書習慣など、生活・学習習慣の定着については引き続き改善が必要である。次年度は、情報発信と家庭連携の充実を図り、教育活動の成果がより伝わる学校づくりを進めていく。

（1）学校経営・運営「学校経営方針を伝え、保護者や地域とともに児童を育てる」

…【信頼される教師集団をつくる】

令和7年度の保護者評価では「教育方針のわかりやすい説明」が91%、「教育活動の工夫・改善」91%、「授業参観等による教育活動の理解」が95%と高評価を維持した。職員評価はすべて100%であり、学校全体で教育目標に沿った取り組みが実施されていることがうかがえる。一方で、保護者の一部から、アンケートの公平性や連絡内容の整理についての課題、授業参観で道徳以外の教科が見られにくい点が指摘されている。

次年度は、授業参観や個人面談等で積極的に情報発信し、各種たよりや学校ホームページを活用して教育活動や学級運営の理解をさらに深める。また、アンケートや連絡内容の確認体制を整備し、保護者に対応状況が見える形で情報提供を行うことで、信頼される教師集団の育成につなげる。

（2）学習指導「家庭学習の充実と読書活動の奨励」

…【学習習慣の確立と学習意欲を高める授業づくり】

児童評価「授業内容を理解している」は91%、「学力向上への努力」は95%と高評価を維持した。一方で、「家庭学習への取組」は65%、「読書への取組」は保護者36%、児童59%と課題が見られる。

令和8年度は、児童が主体的に家庭学習に取り組めるよう、宿題や自学の指導方法を工夫するとともに、家庭との連携を強化する。読書活動については、読書カードや発表会、図書館での読み聞かせなどの企画を継続し、家庭でも読書習慣が身につく支援を推進する。また、授業力向上の研修を積極的に行い、児童が主体的に活動する学習を展開していく。

（3）生活指導「基本的な生活習慣の確立」

…【家庭との連携と生徒指導の充実】

「充実した学校生活」は91%、「良好な友人関係」は98%、「挨拶の習慣」は保護者86%、児童87%と高評価であった。今後も児童が自ら挨拶する習慣を身につけられるよう挨拶運動を継続し、生活アンケートや教育相談を通じて互いを認め励まし合う学校生活を推進する。また、交通安全、不審者対応、自然災害、SNSトラブル防止など、児童の安全・安心確保に向けた計画的な指導も引き続き行う。

（4）道徳教育「他人を思いやる心と自他の命を大切にすること」

…【道徳授業の充実といじめ防止基本方針の確実な履行】

「人間性向上への努力」は保護者90%、「思いやり・助け合いの心」は児童93%と高評価であり、道徳授業や学校生活、学校行事を通じたきめ細かな指導の成果と考えられる。令和8年度も「命を大切にするキャンペーン」や「いじめ撲滅キャンペーン」など、児童主体の活動を継続し、道徳授業の参観を通じて家庭との連携を図る。道徳教育推進教師の研修を強化し、学校全体の教育活動における道徳教育の充実を図る。

（5）体力向上「進んで運動、健康でたくましい体づくり」

…【体育の時間の充実と年間を通じた体力向上の取組】

児童評価「体力・健康への取組」は91%と高評価を維持した。運動会やマラソン大会、縄跳び大会、体育委員会活動、教科体育の充実などを通じ、体力向上の成果が反映されている。体力テストの分析結果を基に、体力向上委員会を活性化させた健康教育を引き続き実施する。

（6）環境整備「健康教育と安全・安心な学校生活」

…【保健・安全指導の充実】

交通安全、不審者対応、自然災害、SNSトラブル防止等の計画的訓練や安全教室を継続し、自分の命を守る力を育む指導を徹底する。また、「感染症予防への取組」は児童99%と高評価であり、手洗いやうがい等、感染症対策を学校生活に定着させる指導を継続する。

VIII 学校関係者評価結果

1 概要

- (1) 委員 学校運営協議会委員 9名
- ・高安信之
 - ・徳元恒
 - ・名雪直美
 - ・山本和正
 - ・浪川麻里
 - ・宮内大輔
 - ・小林千晶
 - ・本部あゆみ
 - ・林 和成
- 事務局:今関夕子
- (2) 実施日 令和8年2月17日(火)
- (3) 方法 学校が自己評価結果を学校運営協議会委員にて説明した後、
学校運営協議会委員による評価を実施

2 評価結果(外部委員6名から)

- ・90%はかなり良い評価だと思う。今後、評価を上げるよりも維持することが大事である。維持するためには、先生方が保護者とのコミュニケーションをしっかりととれば維持できると思う。
- ・SNS上のトラブルについて、今後も注意していただきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症が流行する前は、本城小まつりもバザーや出店があり盛り上がっていたが、同じように復活させることは難しい。
- ・先日、児童が不審者に後つけされたことがあり不安であったが、翌日の下校には先生方が各方面について下校指導を行ってくれたのでありがたかった。